

議会のひろば

2019.5.16 No. 58

今月の
特集

人権とは誰もが幸せに生きる権利
菊川市人権擁護委員に聞きました

特集	P01
第1回定例会概要	P03
代表質問・一般質問	P05
みんなの声	P13
議会活動レポート	P14
きかせてママの声他	P15



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

人権とは誰もが幸せに生きる権利 菊川市人権擁護委員に聞きました

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、菊川市人権擁護委員のみなさんから、活動内容や活動を通して感じたことを聞きました。

「小さな活動でも粘りづよく啓発していきたい。」

人権擁護委員とは、人権擁護委員法に基づいて法務大臣が委嘱した民間の方々の、任期3年、無報酬であり、全国で現在約1万4000人が活躍しています。主に人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしています。

という思いで活動されています。

〈日常のお仕事、活動はどのようなものでしょうか？〉

〈市内では人権擁護に関する相談はどのくらいありますか？〉

・毎月げやきで1日と15日に、中央公民館で5日と20日に民生委員、行政相談員と一緒に心配ごと相談を行っています。平成30年度は菊川地区42件、小笠地区14件で合計56件ありました。

〈人権擁護委員になった経緯と在任期間は？〉

・現在8名の委員が活動されています。自治会長任期後や定年退職のタイミングに前会長、「ミユ協」などから推薦、その後正式に市から依頼され3～6年、地域に貢献する

〈啓発活動はどのようなものですか？〉

・心配ごと相談を月に4回行っています。
・人権教室で保育園・小中学校を巡回し、「命を大切に」「みんなと仲良く」を掲げて、劇や朗読などで伝えていきます。

・高齢者施設で、水戸黄門オリジナルの寸劇や方言で作った「いかいいかいかかぶ（大きなかぶ）」で人権を伝えました。

・小学校・アエル・松秀園で人権の花、ひまわりなどを育てています。

・人権啓発作品のポスター・作文・標語を小中学校に依頼。とても良い作品が多く、優秀をつけるのが難しいです。

・活動をパネルにして人権週間に市役所ロビーと10月に開催されるふれあい広場に展示しています。

・人権擁護委員の日（6月1日）、人権週間最終日（12月10日）に駅やスーパーなどで啓発活動をしています。

※今年の人権擁護委員の日の啓発活動は、6月3日に行います。

・SOSミニレターでは誰にも言えない子どもの悩み・家での心配ごとなどの手紙に、丁寧に返事を書いています。

〈活動をされてやりがいや良かったこと、また逆に大変だと感じることを教えてください〉

良かったこと

・高齢者の方が寸劇など見て元気になることや、子ども達が思いやりの心を持つとしてくれる反応で、人権について考えてくれることがやりがい、励みになります。

・個人ではできない研修や視察で学ぶことができたことです。

大変なこと

・心配ごと相談に対応するため一生懸命に話を聞きアドバイスするのですが、相談者の気持ちに沿っているのか心配です。適切に対応できるよう努力しています。

〈最近はどうような相談や活動が多くなっていますか?〉

・心配ごと相談では、家族夫婦間のトラブル、職場での人間関係、相続問題、生活困窮問題等幅広く、法律に係るものは関係機関を紹介しています。最近では農地の放棄やお墓じまい、地区の祭典継続など少子高齢化に関するものが多くなってきたと感じます。

・人権教室ではいじめの問題などを取り上げ、年齢や性別、国籍に関係なく、すべての人に人権はあるんだよと伝えていきます。

・人権についてアンテナを高く持とうと研修には力を入れています。

〈市民に伝えようきたての取り組み〉

・月4回心配ごと相談をしているので、ぜひ気軽に相談に来てほしいです。

・人権というのは、市民のみならず身近なものなので関心を持っていただきたいと思います。

〈人権擁護推進に關しての行政との連携状況や今後望むことは?〉

・広報紙への掲載、テレビ取材手配、啓発コーナー設置など協力的でありがたいです。

・菊川市として今後も人権について先手を打って対応し、広く意見を聞いていただきたい。

〈議会へ一言〉

・地方ではLGBTの対応が遅く、暮らしているのではないかと思えます。世の中が変わってきています。研修の予算の検討、性別の記入を改めるなど市・議会が率先して行ってほしいです。

・人権のことを頭の片隅において、さりげない支援をお願いしたいです。

(活動のようす)



ご協力ありがとうございました。

※菊川市人権擁護委員会のFacebookページとTwitterで活動を知りましょう。「いいね」フォローは「菊川市人権擁護委員会」で検索してください。

〈取材協力〉

菊川市人権擁護委員

鈴木登志代さん・三ツ井 誠さん
白松 和子さん・石原 行雄さん
塚本 歌子さん・松下 壽男さん
二俣 広志さん・名波 泰雄さん



第1回定例会 審議結果

会期 42日間 平成31年2月14日～3月27日

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	鈴木直博	竹内敏行	横山陽仁	西下敦基	赤堀博	織部光男	小林博文	鈴木啓之	山下修	有海喜一郎	倉部光世	内田隆	水野貞幸	宮城力弘	横山隆一	落合良子	松本正幸	
議案第7号	菊川市立学校設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第13号	平成31年度菊川市一般会計予算(修正案)	否決	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-	
	平成31年度菊川市一般会計予算(原案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第14号	平成31年度菊川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第15号	平成31年度菊川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第16号	平成31年度菊川市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第18号	平成31年度菊川市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	市有財産の無償譲渡について(市有建物及び構造物の無償譲渡)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長(松本正幸)は採決に加わらない。すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

平成31年度 菊川市各会計当初予算額

(単位：千円)

会計名	当初予算額	前年度との比較
一般会計	19,405,000	843,000
国民健康保険特別会計	4,753,551	△ 128,642
後期高齢者医療特別会計	441,075	△ 7,585
介護保険特別会計	3,399,331	34,418
土地取得特別会計	4	0
病院事業会計	6,616,105	167,303
水道事業会計	1,819,300	71,959
下水道事業会計	1,131,338	△ 1,953
総合計	37,565,704	978,500

平成31年度予算 税金の使い道をチェック

平成31年度の各会計の予算案が市長から議会に提出されましたので、平成31年3月11日、12日、13日、22日に一般会計予算決算特別委員会を開催して審査し、26日の本会議において、すべての予算案が原案どおり可決されました。

審査において
こんな質問がされました

Q 浄化槽設置事業費について、排水処理人口の目標値を達成するために必要な浄化槽は何基か、また、その推進方法は。

A 400基程度を付替える必要がある。下水道は、経営戦略及び第4期計画を基に整備を進め、浄化槽は、平成29年度から浄化槽設置事業費補助金を見直し、付替えに係る補助金額を増額して推進を図っている。現在の浄化槽設置事業費補助金制度は平成31年度までであるため、32年度以降も継続できるように考えている。

Q 消防団運営費について、362万5000円減額となっているが、現在の消防団員と機能別団員の数は。

A 消防団員の定員数は364名で、現在の実員数が32



消防団査閲大会

8名であり、36名の欠員となっている。機能別団員数は、328名のうち18名である。

Q 茶業振興については、茶業振興計画で様々なことが網羅されているが、売れるお茶を作りたいのか、菊川茶を守りたいのか見えてこない。どこに重点を置いて何をしたいのか。

A 目的としては産地力の向上のために生産力の高い茶業の確立を掲げている。また、その運営に対しての経営体の強化として、茶に関わる方の

所得が上がるように進めていきたい。その中の手法として、法人化や茶園集積、ブランド化といったことをまとめ、最終的には経営体の強化、産地力の向上へと積み上げていきたい。

Q コンビニ交付システムの導入業務について、金額も含めて全体像の説明を。

A コンビニ交付はマイナンバーカードを利用して住民票などの証明書が、キオスク端末で受取れるシステムである。利用時間は朝6時半から夜11時までで、12月29日から1月3日以外は利用可能。全国のコンビニ等で証明書の発行ができる。導入経費は初年度はシステム構築等があるが、次年度からはシステム保守料と負担金等を計算すると700万円程度である。国の財政支援は導入年度から3年間で、経費に対して2分の1の交付

税措置がある。この交付税措置は平成31年度導入が最終年度となる。県内は23市中20市が導入済、平成31年度に当市を含め2市が導入予定。

Q コンビニ交付については、導入を内部で検討したのか。

A 平成28年から庁内の企画政策課、税務課、支所等関係する部署と検討を行ってきた。県内市町の状況を調査し、導入するメリット・デメリットも研究をしたが、費用対効果の話が出て進まなかった。平成31年度が国の交付税措置のラストチャンスということで、30年7月に国から講師を招き、関係各課職員を対象にコンビニ交付の説明会を行った。先進地へ視察に出向き、どういったことがコンビニ交付から始まる新たな取組みとしてできるか等を検討してきた。また、菊川市への転入者にコンビニ交付が出来ないと説明すると

驚かれる。これだけ全国、県内でコンビニ交付が広がり掛川、御前崎、牧之原市では取れるが、菊川市では取れないのかという残念がる声があり、電話もある。菊川市へ転入したことで、サービスの低下につながると考えられるのは避けたい。費用対効果は得られないということはあるが、市民サービスに最大の重きを置いて検討をしてきた。時代の流れに乗り遅れないように構築するラストチャンスと考え予算計上した。

◎ 市制15周年事業で、関口隆吉氏に関連したことが行われるが、採択のプロセスは。

▲ 平成31年度は菊川駅の開駅130年、関口隆吉氏没後130年、牧之原台地入植150年の節目の年となる。

関口氏の堀之内駅開駅への貢献は、菊川の近代化やお茶産業の基礎になり、牧之原台地

の入植も関口氏の功績が大変大きい。菊川駅に銅像を建てることは、菊川のシンボルとして市外へも発信できる。合併5周年の成人式に関口氏の本を配り好評であったことから、顕彰事業として関口氏の功績を市民に伝えることを続けたい。

◎ 銅像の予算は大変高額だが、効果は期待できるのか。

▲ 関口氏はまだあまり多くの方には知られていないが、菊川市の偉人として後世に残したい。銅像設置をきっかけに関口氏の功績を市内の子どもたちの学習に取り入れ、自分もこういった大きな人間になりたいという将来の夢につながっていくと考える。高額かも知れないが銅像は半永久的で耐用年数が長く、長い目で見ればこの金額は妥当と考える。

代表質問 一般質問

議会の映像配信をご覧くださいには

菊川市議会 検索

まずは、菊川市ホームページ内菊川市議会トップページへ

ここをクリック

生中継はこちらからご覧になれます

録画映像はこちらからご覧になれます

本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。

代表質問とは？

第1回定例会において、市長の施政方針および予算編成方針の内容や考え方を、会派の代表者が質問します。

質問会派：
「市民ネット」「みどり21」

一般質問とは？

市議会議員が市に対して、市民の皆さんの生活にかかわる大切なことを質問します。

あなたの生活にかかわる質問はありますか？

※議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。

質問議員：10名 質問数：13問

表 持続可能なまち菊川を目指して
代 市民ネット 質問者・倉部 光世



これからの行政運営は、各地域の課題・現実を見つめ、各分野で対話を重ねた上で事業をやめる・統合する決断をしていくために、市民自治力を高める環境づくりが必要である。小規模多機能自治を進めるために、全ての市民がかかわる総動として考えていく必要がある。

① 市長の目指す「住み良さNo.1」とは。

② 第2次総合計画の基本目標に掲げた政策・施策を着実に進めることで住みよいまちとなる。

③ 今年度最も力をいれていきたいところは。

④ こども未来部の創設や学校施設の整備による子育て環境の充実をさらに進めたい。

⑤ 協働の指針で示される協働は、行政と一緒に働く協働でなく、市民が得意分野を活かし対等に連携する協働である。各地区に担当職員を配置することが理想、協働を進める上で職員意識、心得をどの

ように伝えていくか。

⑥ 協働が円滑に進むためには職員が正しく理解し、共通の認識を持つことも重要。庁内ワーキンググループで協働の意義や重要性を伝えている。

⑦ 菊川市民の担う力はすばらしい。協働の指針策定とあわせ自治基本条例や住民投票条例策定の計画は。

⑧ 市民の意見を聞き、反映することは重要だが現時点で条例制定の予定はない。

⑨ 当事者意識を育てるために総合計画の策定など無作為抽出による市民参加の場を作る必要性は。

⑩ 全国的には実施している自治体もあり、市民の意見の反映、行政への関心が高まる効果もある中で、他自治体事例を参考に今後研究していく。

⑪ 離れていても菊川市に関心をもってもらえるふるさと住民票の発行は。

⑫ 実施する予定はないが、ファンを増やす取り組みは今後研究していく。

⑬ 中東遠地区の連携、人口密度より人口密度をあげる取り組み、当市のリーダーシップは。

⑭ 事務や施設などの広域連携による効率化の推進など、地域全体で対策を講じていく必要も生じている。当市の特色を十分活かすよう働きかけを行う。

⑮ 小中一貫教育では中学校区に学舎運営協議会を設置。地域学校協働活動推進員の新組織を作って市民の負担を増やすより、コミ協など既存組織を活用するべき。運営協議会の形はどんなものになるのか。教職員働き方改革や授業数増対応で学校行事を一方的に削減するのでなく、対話が必要ではないか。

⑯ 地域、保護者代表、学校評議員、学校関係者などで構成し、各中学校区に設置予定。適切な母体となる組織がなく新たに設置。学校だけが企画運営してきた行事も、目指す子どもの姿を考えた上で運営協議会として模索することで、新たな学校行事や授業のあり方の

可能性が広がる。

⑰ 4月からの入管法改正による外国人受け入れ増、今年度の共生のポイントは。

⑱ 外国人住民を孤立させず、社会を構成する一員として受け入れられる視点に立ち、取り組むことだと考えている。

⑲ 地方創生の政策課題を解決する新たな手段として持続可能なまちづくりをする指標として、2030年を目標とした持続可能な開発目標SDGsの考え方を意識した取り組みを推進する必要性は。

⑳ 地方創生はSDGsが掲げる目標と共通するものが多く31年度策定予定の次期総合戦略において、SDGsの視点を取り入れていくことを考えている。



代表 表 平成31年度施政方針より
みどり21 質問者…内田 隆



Q 新年度からこども未来部が創設される。市民窓口のワンストップ化のために平成18年に市長部局にこどもみらい課を創設し、平成26年度に教育委員会に幼児教育課を創設した。今回、また市長部局にこども未来部を創設することについて、どんな反省と課題の整理がされているか。

A 教育委員会に幼児教育課を創設し幼稚園、保育園と小学校との連携により一定の成果は上がったが、一方で市民の皆様にはげやきや中央公民館へ行く等の負担がかかった。今後は就学前の子どもに関する事務のワンストップ化により利便性を向上させ、課題となる学校との連携はこれまで以上の連携と情報の共有化に努める。

Q 「子育てするなら菊川市」を掲げる市長として、待機児童対策は大変重要な施策であるはずだが、現状や数年後を見据えどのような所見を持っているのか。

A 今後においても保育ニーズは上昇すると考えている。特に1、

2才の対策が課題であるので状況に合わせた待機児童対策に取り組んで行く。

Q 今年はワールドカップ、来年はオリンピック、パラリンピックが開催され、訪日外国人は更に大きく伸びることが期待される。観光資源の少ない菊川市にとってもう少し絞った施策を打つべきではないか。

A 観光施策として基本的には、市外、県外の人をターゲットにし



こども未来部窓口

ている。訪日客への対応としては、離日前の富士山静岡空港での空き時間を活用した、棚田の見学等を提案していく。

Q 昨今の異常気象の要因のひとつは、化石燃料の大量使用と言われている。その対策のひとつとして、ゴミの減量化にどう対応していくのか。

A 今年度実施した調査結果を基に排出量の多い自治会や分別が適正でない自治会へ押し掛け出前講座を実施する。

Q 基幹産業の茶業は平成12年をピークに年々生産額が下がり、農家によっては10a当たりの生産額が3分の1以下になったとも言われている。菊川市における茶業は生産農家だけでなく、市の経済、土地利用、関連産業等多方面へ影響を及ぼす産業である。現状を踏まえ将来をどのように描いているのか。

A お茶が大変厳しい状況にあることは理解している。昨年見直した茶業振興計画で、経営体の強化ブランド化の確立、茶文化の継承等を中心に茶業振興に向けて取り組んで行く。

Q 菊川市にとって背骨とも言える掛浜バイパスは、数多くの地権者や国・県の支援により順次新区間が開通され、渋滞解消等大きな効果が出ている。しかし、ここ数年は予算化はされても用地取得の難航により、補正予算での減額が続いている。すでに土地を提供してくれた地権者や全線開通を心待ちにしている人々に対し、今後どのような対応をしていくのか。

A 用地交渉を重ねて来たが、条件が大きく乖離していて、用地取得が出来ていない。計画路線上には県の施工する部分においても用地交渉が難航している部分があり、県の進捗状況を見ながら対応を協議していきたい。



掛浜バイパス

菊川市協働のまちづくりに向けて

竹内 敏行 (みどり21)



今や協働によるまちづくりが、市の役割のすべてになってきている。単なる自主的な活動ではなく、市政の活動として機能し、市民がパートナーとして市民力を発揮することで、菊川市の財政力を補い、余りあるものであると考え、質問した。

◎ 協働統括本部設置による強力なリーダーシップの考えは。

▲ 強力なリーダーシップもさることながら、庁内の複数にまたがる問題に円滑に対応するための横断型組織として、協働のまちづくり推進庁内ワーキンググループを設置している。

◎ 地区協働センター設置による市民への直接支援の考えは。

▲ 地区センターの事務長は、地区内の各種団体との連携を図り地域づくりを推進するアドバイザーとして活動を行っていることや、行財政改革の観点から効率的な業務運営、職員配置を考慮し、現行制度を継続していきたい。

◎ 活動情報の共有化による活性化の考えは。

▲ 市民協働センターによる市民活動登録制度の運用や、1%地域づくり活動交付金報告会の開催などにより、団体間の情報共有、連携の促進を図っており、さらに充実していく。

◎ 市制15周年事業の協働企画の考えは。

▲ JRさわやかウォーキング、全国田んぼアートサミット、NHKのど自慢大会、菊川シテイマラソン、関ヶ原吉像除幕式等の事業において、多様な主体と連携を図りながら、市の組織が一体となつて、効果的な事業の実施に取り組んで行く。

犯罪被害者等への支援を

鈴木 直博 (みどり21)



突然我々の身に降りかかってくる犯罪被害。その犯罪被害者等(被害者)は一生消え去ることのない苦痛や悔しさを背負って過ごしていかなければならない。

◎ 被害者が相談出来る窓口並びに支援制度とその実績は。

▲ 平成28年に被害者の施策担当窓口を地域支援課に設置した。設置以来相談等は無く、被害者の把握はしていない。市としての支援・給付金・見舞金・貸付等の制度はない。給付金制度は警察署にあるが、支払い実績はないとのこと。

◎ 相談窓口の周知は。

▲ 今後周知をしていきたい。被害に遭われて、まずは警察署で対応を受けることになると考えられ、同署ではNPO法人静岡犯罪被害者支援センターへの紹介も行っている。市の地域支援課では、警察署や専門の知識のある部署と連携をとりながら、体制作りを行う必要があると考える。

◎ 被害者、家族である少年等への対応は。

▲ 児童生徒のケアに当たった事例は近年ないが、スクールカウンセラー2名、スクールソーシャルワーカー3名が市内の小中学校で活動している。県に配置時間の増加を働きかけている。

◎ 条例制定の意気込みは。

▲ 今後、既に制定済みの市町の状態を確認し、研究していきたい。



広報きくがわ3月号掲載記事



警察のパフレット

シビックプライドと地方創生

小林 博文（市民ネット）



Uターン等々の移住者により菊川市の魅力を市民の皆様にも再認識していただき、シビックプライドを醸成し、地方創生へ繋げていくべきと考え、質問する。

Q 「わくわく地方生活実現政策パッケージ」の本市での活用方法と情報発信はどのように行うのか。

A 静岡県や県内市町と連携し、首都圏で移住の相談会・セミナーを行う。また、市HP（ホームページ）での紹介や、市内企業等へ制度などの周知を図り、県の求人情報サイトへの掲載を依頼し、移住促進及び雇用創出を図る。

Q 本市が行っている移住定住施策の内容は。また、その効果や期待、更に他市との差別化は。

A 首都圏での移住相談会等への参加、市HPでのサイト運営、情報誌の発行、若者定住者への補助金交付などを実施。移住者には、地域活動への参加などを通して、新しい目線での活躍を期待している。他市との差別化では、ハード

面よりもソフト面が重要。地域活動等での市民協働により、生活の幸福度を実感してもらうなどが考えられる。

Q 市からの転出者へ「ふるさと住民票」を発行する考えは。

A 「ふるさと住民票」の発行は考えていないが、市としては人口増に繋がる定住者へ向けて施策を進めている。関係人口を増やしていく取り組みについては今後研究をしていく。



菊川市 移住定住サイトトップページ

どう変わる外国人共生策

水野 貞幸（みどり21）



じ要望等があれば上げる。

Q 特定技能1号・14業種に自動車製造関連が含まれない。当市の産業への影響、行政負担増への見解・対策は。

A 建設業など14業種の就労が見込まれるが、現時点で影響は捉えることができない。携帯型翻訳機の配備、多文化共生サポーター制度や推進講座の実施で地域づくりを進める。

改正入管法が国会で決まる。市内で外国籍児童が2割を超した小学校があるなかで、菊川市は国・県の支援が乏しい状況でも教育には他市に先駆け尽力している。国も出入管理局を庁に格上げ、初めて専門職を配置する。政策の変化と生活にどう影響するのかを質問。

Q 制度変更の説明会・研修会の有無と内容は。

A 2月25日に法務省、県による概要説明会があった。制度概要や各省庁が所管する受け入れ分野についての説明が行われた。質問が相次ぎ、関心が高まっている。

Q 国が意見集約する。菊川市はどう対応、どう行動するのか。

A 国が共生策の専門官を名古屋に配置。外国人集住都市会議は、平成29年度に退会し、現在は加入していない。全国100ヶ所の多文化共生総合相談ワンストップセンター設置の基準となる外国人の人口に達していないが、外国人比率は高いことから入管庁や県を通



多文化共生活動

コミュニティバスの効率的な運行について

横山 陽仁（みどり21）



Q 地域公共交通会議が3回行われたが、コミュニティバスについての程度の細かい検討を行ったのか。

A 地域公共交通会議の中で方針についてお諮りしているところである。

Q 公共交通だから無駄な費用をかけても良いというわけではない。もう少し検討をしたらどうか。

A 公共交通だからいくらでも使ってよいとは考えていない。できるだけ効率よくやらなければならぬということでは認識している。今後高齢者の免許証返納等が増えると考えられるなかで、公共交通を存続したいと考えている。

Q ルートについて改善を重ねてきたというが、西方から病院へ行くのにいったん原まで上がった後、尾を降りて行く、そういうルートが本当に改善されてきたルートなのか疑問だが。

A 西方・沢水加ルートは非常に時間がかかるとアンケートでも指摘を受けている。今回は大きな見直しのチャンスでもあるので、そういう部分が改善できるかどうか

についても検討を進めたい。

Q 誰も乗せずにぐるぐる回っているように思われるのは、市民感情としても良くないのではないかと。利用促進策として、駅すばあにも情報を配信し、電車との乗り継ぎ検索ができるようにしている。市内の方だけでなく、市外から訪れる方にも是非利用していただきたい。

Q 県道以外はどこでも手を挙げれば乗せてもらえるようにしたらどうか。

A フリー乗降区間については、道路形状や通行量等を勘案し、警察との協議によるものである。できるだけ利用される方にとって便利にしていきたい。

浜岡原発安全協定勉強会

横山 隆一（日本共産党）



4市安全協定勉強会が1月半ばに開催された。茨城県の日本原電東海第二原発の周辺市村と結ぶ新協定締結を受け、菊川市・掛川市・牧之原市が要請していたものである。茨城方式と呼ばれる協定内容は、再稼働の是非をとことん話し合い、一自治体でも了解が得られない場合再稼働は難しいとされている。勉強会の内容を伺う。

Q 勉強会への参加者は。

A 4市の担当課長及び担当者その他、オブザーバーとして県原子力安全対策担当者、中電職員が参加した。

Q 勉強会では事前了解の協議はされなかった。勉強会の開催趣旨は茨城方式の検証ではなかったのか。

A これまでの安全協定の内容について学び、先進地の協定について勉強することを目的としている。

Q 現在の安全協定では、事前了解は担保されていると考えるか。

A 再稼働における事前了解は、担保されているとは言い難い。

Q 市長は、茨城方式を取り入れるべきと考えるか。

A 茨城県東海第二原発周辺市村の調査、研究をしていく。

Q 安全等対協議会規約に、同意条件を明記すべきと思うがどうか。

A 今はその段階ではないと考えている。

Q 脱原発をめざす首長会議がある。参加して脱原発を表明する意思はあるか。

A 脱原発については、国民レベルで検討するものと考えている。

他に「公用車の効率的な管理」について質問しました。



必ず起こる地震への対策を問う

西下 敦基（市民ネット）



東海地域での今後30年以内の震度6弱以上の地震発生確率は約70%。喫緊の課題と考え、質問した。

Q 地震発生時のトイレの対応は。A 発災から3日分の避難者のトイレの確保に向け、仮設・簡易・携帯トイレの備蓄を計画的に進めている。

Q 近隣市で導入されている災害用バルクと非常用LPガス発電機およびガソリンとプロパンガスで発電できるハイブリッド型自動発電装置の各地区への配備・導入について伺う。

A LPガスバルク貯蔵施設については、公共施設に設置する計画はないが、災害時の活用方法など研究をしていきたい。ハイブリッド型発電機についても研究し、導入を検討していきたい。

Q 屋根を貸すだけで、工場や店舗が初期負担なしで太陽光発電を使える新サービスを中部電力が始め、災害時の非常電源になるほか、電気料金が安くなる可能性もあるとされているが、小中学校等の施

設への導入はどうか。

A 小中学校施設は新電力に切り替えたところであることや、老朽化している校舎の問題など課題があり、実施可能な施設の有無について調査する。

Q 隣近所で助け合う「近助」の考えを取り入れた防災の推進の検討は。

A 普段から隣人と声をかけ合い助け合う地域づくりは防災にとって重要であり、隣近所同士でグループをつくり見守り、助け合う取組みを行っている防災会もあり、参考にして情報発信・啓発をしていく。

まちの駅指定で観光の活性化を

落合 良子（無所属）



茶業に貢献した関口隆吉像の建立が決定し、予算に事業費が計上された。赤レンガ倉庫はお茶の菊川や静岡を象徴する唯一残った産業歴史建築物であり、菊川茶の歴史を伝える重要な建物として平成26年、国登録文化財に指定。地域の茶業を支え続けた赤レンガ倉庫と関口隆吉像との連携活用は、市民の文化教育に貢献できる資産である。

Q インター前と駅周辺は市の顔である。インター前市有地と赤レンガ倉庫をまちの駅指定の考えは。

A インター前市有地の将来的な活用方法は商工会が継続的に研究を続けている。赤レンガ倉庫はまちの駅指定をせずとも、おもてなし拠点として活用されている。

Q 赤レンガ倉庫は関口隆吉像とともに市のシンボルに成りうる貴重な財産ではないか。

A 明治中期建造のお茶の歴史に関連する数少ない建物と認識している。

Q 赤レンガ倉庫は、貴重な歴史的財産である。市の支援は。

A 文化保護法の規定では所有者が管理をすることになっており、管理に係る支援は考えていないが、教育委員会として、できる範囲の協力はする。

Q 賑わい創出事業943万円の内容は。

A 賑わい事業創出業務委託料877万6000円、東館のパンフレット作製に30万円、賑わいづくり研究会の委員の報酬36万円等である。

※「まちの駅」地域情報や日常的な賑わい創出、人と人との交流拠点。



簡易トイレ組立のようす



国登録文化財の赤レンガ倉庫

子どもの命を守る取り組み

赤堀 博 (みどり21)



千葉県野田市の小学4年生が死亡し、両親が傷害致死容疑で逮捕された事件では、虐待リスクを確認しながら十分対応しなかった児童相談所に批判が集まっている。厚生労働省によると、平成29年度、全国の児相による虐待相談の対応件数は約13万3800件、警察からの通告の増加などを背景に平成12年度から5年間で倍増している。

Q 当市の児童虐待受理件数と種類は。

A 虐待相談受理人数は年間1人〜9人である。虐待の種類は多くが身体的虐待やネグレクトである。

Q 児童福祉係はごままでの相談に対応するのか

A 虐待と疑われる相談・通報があった場合には、訪問・面談による状況確認を行い、関係機関が連携して必要な支援を行っている。



Q 県内の児童相談所が扱った平成29年の虐待件数が2368件、10年前に比べて3倍弱に増加。児童福祉司定員増の動きはあるのか。

A 東部に1名、西部児童相談所には2名の増加を平成31度から予定している。弁護士や警察OBの支援も受けられ、権限を持った方の人員配置が拡充される。

他に「菊川市中学校区『学びの庭』構想」、「健康マイレージ事業」について質問しました。

31年度予算と財政計画について

織部 光男 (無所属)



財政規律の問題はないか質問した。実質公債比率は県下で最下位である。

Q 財政の弾力性の指標に経常収支比率がある。75%が望ましいのに菊川市は28年度が89・9%、29年度はどうか。

A 29年度は89・5%。副市長は「75%が示された当時と現在では状況が違う。一概に80%以下に抑えなければならないという認識はしていない。」と答弁。

Q 広報きくがわ12月号では公債費歳出額は20億9000万円だが、私の調べでは32億円以上。10億円はなぜ記載されないのか。

A 一般会計を掲載しており、企業会計の公債費は掲載していない。

Q 知らせる必要はないと考えているのか。

A ホームページには掲載しているが、広報紙は紙面の都合で掲載していない。

Q 市民には知る権利がある。事実を隠すような表示はやめて、31年度は載せて下さい。

A そこは紙面の都合を捉えて考えていきたいと思う。

Q 下水道事業は29年度使用料が1億1400万円、借金返済が2億6600万円。今後10年で3億かけて範囲を広げる計画である。2回の値上げと一般会計から3億600万円の繰入、勿論起債を起す。それで10年後は収入1億8000万、総支出は5億4800万円。合併浄化槽を使えば水質は担保できる。広げるほど赤字が増える政策はやめなければ駄目だと思うが、これを続けていいのか。

A 水質保全を図るために欠かせない事業である。



え：たかいゆう

みんなの声

傍聴者より

銅像建立に関する一般質問をして頂き、今日の採決に繋がり地元顕彰会としてこの様な大変ありがたい事に心から感謝致します。

財政の厳しい折、市民の皆様が手を挙げ賛成しているとは思いませんが、菊川市は遺臣、偉人の文化の継承が充分とは思えません。菊川市の発展に大きな功績を残した関口隆吉の顕彰活動を今以上に進め、菊川市教育委員や委員会、他の菊川市の顕彰団体も含めて市民、学校等が一体となって青少年ならびに市民の方に広く伝えていかなくてはならないと考えています。今後ともご指導頂き建立が実り有る物になります様よろしくお願い致します。

傍聴者より

初めて議会傍聴させて頂き張り詰めている空気が感じられました。

議事について、真剣な討論がなされていました。十分審議をされたと思われれます。

傍聴者より

コミュニティバスの運行には一考の余地があると思います。抜本的な改革が必要ではないでしょうか。タクシー券の復活も必要かと。

浜岡原発の近隣自治体として、東海第2原発に対する茨城方式に学び、藤枝から磐田までの自治体と足並みを揃えて、事前了解が必要なことを主張していただきたいと思います。

傍聴者より

今回来た目的は「犯罪被害者等への支援」の質問をどうしても聞きたかったためです。犯罪被害にあった当事者として傍聴しました。

当時はどこに相談して良いかわからずにいました。最近、国、県からも各市町村に被害者基本条例の作成の要請が有り、静岡県でも出来つつ有り菊川市にも作成してもらえないか市長の答弁を聞きに来ました。検討をしてくれるとのことなので早急に作成して頂きたく思います。必ず安心、安全のまちづくりに役立つと考えます。

《皆さんの声をお聞かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想や議会への要望・意見などをお送りください。

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です

議会活動レポート



第102回東海市議会議長会

4月11日に三重県津市において、東海市議会議長会が開催され、認知症施策の推進を求める要望などの議案が可決されました。

東海4県から正副議長が一堂に会して議論を交わし、親交を深めました。



議会改革を進めます！

3月25日に今年度2回目の議員研究会を開催しました。早稲田大学マニフェスト研究所事務局長中村健氏をお招きして、「菊川市議会の現状と議会改革の進め方」をテーマに、講演やロールプレイングで学びました。

今後、菊川市議会が一丸となって議会改革を進めていきます。

議会豆知識

「一部事務組合とは」 前編

複数の市町などが、単独では対応できない、あるいは広域で行った方が効率的な事務を共同で行うために設立された特別行政組織の一部事務組合について紹介していきます。

●東遠広域施設組合（御前崎市・牧之原市・掛川市・菊川市）

御前崎市池新田にある東遠衛生センター（汚泥再生処理センター）を運営。各家庭から出されたし尿処理・生ごみ処理をして有効活用を図る施設。

●掛川市・菊川市衛生施設組合

掛川市満水にある環境資源ギャラリー（ごみ処理施設）を運営。燃えるごみを処理す



る「ガス化溶融施設」、燃えないごみと粗大ごみを処理する「リサイクルプラザ施設」、環境について学習できる「エコみらい館」の3施設で構成。

●東遠地区聖苑組合（菊川市・掛川市）

広域火葬場を運営。厳粛な中にも近代的な機能や設備を導入して周辺環境との調和を図るなど配慮された施設。

●東遠工業用水道企業団（掛川市・菊川市・御前崎市・牧之原市）

企業の生産活動を継続・発展させるため、工業用水を安価で安定的に供給する「東遠工業水道事業」を運営。



きかせてママの声

Vol.13

菊川市に住むお母さんに
聞きました。

17年前に菊川市に引っ越してきました。市外に住んでいた頃の菊川市は子育てにはあまり向かない街という印象でしたが、最近では以前に比べ子供も増え、公園、児童館、病院も多くあり、子育てのしやすい街という印象に変わりました。地域の交流も深く大変住みやすいと感じています。菊川市は皆に自慢できる素敵な街です。その良さをもっと他の地域に発信できるようになるといいと思います。

渡辺 朋代さん



第2回定例会の予定 (各日とも午前9時から)

6月	
3日(月)	議案の提案説明
4日(火)	
6日(木)	一般質問
7日(金)	
13日(木)	質疑・討論・採決・委員会付託
24日(月)	委員長報告・質疑・討論・採決
25日(火)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(35-0941)へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことにについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

議会だより編集委員が変わりました

●委員長

倉部 光世

●副委員長

落合 良子

●委員

鈴木 直博

西下 敦基

鈴木 啓之



©菊川市

次回の議会のひろばは

8月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに!

表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。
菊川市観光協会主催
第7回 菊川市みどころフォトコンテスト
入選作品
「茶葉も踊り出す!手もみ茶」
高木奈王子さんの作品

撮影地：菊川市本所
菊川文化会館アエル

